

第 2350 圖

かやつりぐさ科



やぶすげ
Carex remota L.
 var. *Rochebrunii C. B. Clarke.*
 (= *C. Rochebrunii Franch. et Sav.* ; *C. remota L. subsp. Rochebrunii Kuek.*)
 山野ノ背陰濕地ニ生ズル多年生草本ニシテ密ニ簇生ス。葉ハ草質、綠色、瘦線形ニシテ程ヨリモ稍低ク、短軟毛ヲ布ク。稈ハ細長ニシテ直立シ下部ニハ鞘狀葉アリ、上部ニ花穂ヲ列シ、各花穂下ニハ線狀ノ長キ葉狀苞ヲ伴ヘドモ上部ノ二三ニ對シテハ急ニ短小ト成レリ。花穂ハ綠色、廣楕圓體ニシテ多少扁壓セラレ、長サ1cm、兩性アリテ下部ハ雄花ヨリ成ル。穎ハ楕圓形鋭頭、縁背。果囊ハ穎ヨリ超出シ上半部ハ兩縁ニ細齒ヲ具ヘ先端ハ二淺裂ス。瘦果ハ卵形ニシテれんず狀ヲ呈シ、柱頭ハ二岐セリ。我邦ニテハ住マ之レヲ支那ノ書帶草ニ充テ觀賞ニ供スルコトアリト雖モ、元來書帶草ノ本品ハ蓋シ此品ニ非ザルベシ。和名藪葦ハ樹下陰地ニ生ズルコトアルヲ以テ云フ。

第 2351 圖

かやつりぐさ科



ますくさすげ
 一名 ますくさ (同名アリ)
Carex gibba Wahlenb.
 路傍或ハ林縁ニ生ズル多年生草本ニシテ高サ50cm内外、稈ヲ簇生シ全株暗綠色時ニ黃綠色ヲ呈ス。葉ハ總テ稈上ニ生ジ、線形ニシテ幅4mm内外、彎曲下垂スル者多ク、邊緣ハ糙澁ス。稈ハ鈍稜ヲ有シテ滑澤ナリ。夏日稈頂ニ小穂ヲ穂狀ニ着ケ、下部ハ疎ニ、上部ニテハ相接シ、各小穂ノ基部ニハ長キ葉狀苞ヲ着ケテ著シ。小穂ハ長サ5-10mmノ楕圓形ニシテ綠色、下端ハ雄花穂他ハ雌花穂ナリ。雌花穎ハ稍圓形、先端ハ芒ヲ有ス。果囊ハ長サ穎ニ超エ、五ニ鱗次シ、扁平ナル不整ノ圓形ヲ呈シ長サ3mm許、表面滑澤ナレドモ兩縁ハ中部以上ニ狭ク鐮状ニ翼ヲ有シ、先端ハ急ニ短嘴ト成リ、末端僅ニ二裂セル間ヨリ二箇ノ柱頭ヲ現ハセリ。和名ハ枳草葦ノ意、小兒此草ノ稈ヲ前後ヨリ裂テ枳形ヲ作り戯ル故ニ枳草ト謂フト雖モ其レハ多分かやつりぐさノますくさヲ本種ト誤認セシナラン。

第 2352 圖

かやつりぐさ科



あぶらしば
Carex satsumensis Franch. et Sav.
 (= *C. nikkoensis Franch. et Sav.*)
 山地ノ崩壞セル砂礫地ニ多生スル多年生草本。根莖ハ短形ニシテ二三ノ稈ヲ出ダシ、又細長ナル匍枝ヲ發出ス。葉ハ根生シテ平開スルノ狀コウハふむぎヲ小形ニセシ狀アリ、長サ10-15cm許、幅5mm内外ノ廣線形ニシテ質強韌、邊緣糙澁スレドモ表面滑澤ニシテ濃綠色ヲ呈シ。七月ニ高サ10-15cm許ノ強韌ナル細稈ヲ直立シ、頂ニ光澤アル黃褐色ノ一密集花叢ヲ着ク。花叢ハ多數ノ小穂ヨリ成リ、上部ノ小穂ハ次第ニ小形ト成ルヲ以テ圓錐形ヲ帶ビタル圓柱形ヲ呈ス。小穂ハ開出、頂ニノミ雄花ヲ着ケ他ハ雌花ヨリ成リ、長サ5-10mm許、下部ノ者ハ基部ニ細線形ノ苞ヲ有スルアリ。雌花穎ハ卵狀披針形ニシテ尖リ、果囊ハ穎ヨリ長ク基部ニ於テ強ク外屈シ卵狀披針形ニシテ無毛、長嘴ハ腹面ニ於テ深ク二裂シ、其間ヨリ長キ三柱頭ヲ出ダセリ。和名ハ油しばニシテ褐黃色ノ花穂油氣アルガ如ク見ユル故云フ。

あぜすげ

Carex Thunbergii Steud.
 (= *C. Gaudichaudiana Kunth*
 var. *Thunbergii Kuek.*)

諸國濕潤ノ地ニ生ズル多年生草本ニシテ高サ30-50cm許、稈葉共ニ直立ス。根莖ハ短クシテ簇生シ横走セル匍枝アリ。葉ハ狭線形幅3mm以下、稈ト稍同高或ハ之ヨリ低ク、鮮綠色ニシテ邊緣糙澁ス。春日稈ヲ葉ト共ニ出シテ頂ニ一ノ雄花穂ヲ着ケ其少シク下部ニ二三ノ雌花穂直立ス。雄花穂ハ線形ニシテ長サ1-4cm許、茶褐色ヲ呈ス。雌花穂ハ長サ1.5-4cm許ノ線狀長楕圓形ニシテ黒褐色ヲ呈シ、下方ノ者ハ短キ細梗ヲ有シ且長キ葉狀苞ヲ伴フ。雌花穎ハ狭キ長楕圓形ニシテ先端鋭ク紫黒褐色、上半ハ兩縁ニ白膜部ヲ有シ、中脈ハ綠色ヲ帶ブ。果囊ハ穎ト略ボ同長ナレドモ幅廣ク、穎ノ左右ニ露出シれんず狀ノ廣楕圓形或ハ卵圓形ヲ成シテ密ニ鱗次重疊シ、初メ綠色ヲ呈シ穎トノ對照顯著ナレドモ後暗色ト成リ、光澤無ク、先端ハ鈍頭、極メテ短キ嘴ヲ突出ス。柱頭ハ二、早ク脱落シ去ル。和名ハ畔葦ノ意ニテ、此種多ク田ノ畔ニ生ズルヨリ云フ。

かはらすげ 一名たにすげ
Carex incisa Boott.
 (= *C. Textori Miq.*)

稍濕潤ノ山麓林縁等ニ生ズル多年生草本。全草軟弱ナレドモ鬚根ハ強シ。根莖ハ短形ナレドモ強固ニシテ、多數ノ稈ヲ斜出セル幅狀ニ發出ルヲ以テ長サ20-40cm許ナルモ高サハ低シ。稈ハ細長ニシテ五六月上部ニ五六穂ヲ穂様ニ着ケ、稈ノ下部ニハ線形ニシテ邊緣糙澁セル軟カキ四五葉ヲ出シ其鞘部重ナリテ粗大ナル三稜ヲ呈シ脚部ニ赤褐色ノ鞘狀葉ヲ重疊ス。花穂ハ粗線形ニシテ綠色、頂生者ハ雄花穂(往々其一部ハ雌花穂ニ變ズ)ニシテ他ハ皆雌花穂ヲ成シ、長サ4-8cm許アリテ側方ニ傾垂シ下部ノ者ハ細梗ヲ有シ且葉狀苞ヲ伴フ。雌花穎ハ倒卵狀楕圓形ニシテ中脈ノミ綠色、兩縁ハ廣キ白膜ヲ成シ、頂ハ凹頭ニシテ中脈短ク突出ス。果囊ハ穎ヨリ長ク、熟スルモ黃綠色ヲ呈シ脱落シ易ク、麥粒狀ヲ成シ漸尖頭ノ先端ハ極メテ僅ニ二裂ス。柱頭ハ二。和名 河原葦ハ河原ニ生ズルトテノ稱、谷葦ハ谷ニ生ズルトテ名ケシナリ。

がうそ
Carex Maximowiczii Miq.
 (= *C. pruinosa Boott*
 subsp. *Maximowiczii Kuek.*)

田畔薄潤ニ生ズル多年生草本ニシテ高サ30-50cm許、簇生シ稈葉共ニ淡綠色ヲ呈ス。根ハ粗ニシテ長シ。稈ハ其下部四五ノ淡褐色鞘狀葉ニテ包マレ、更ニ二三葉アリ。葉ハ線形幅4mm許、邊緣糙澁シ、下部ハ長キ葉鞘ヲ成シ、鞘ノ外面ニハ短粗毛ヲ布ク。初夏ノ候稈ハ直立シ細長ナル三稜柱ヲ呈シ、頂ニ一雄花穂、稍其下方ニ三四ノ雌花穂ヲ生ズ。雄花穂ハ線形ニシテ長サ3cm、雌花穂ハ長キ細梗アリテ側出、下向シ、梗ノ基部ニ長キ葉狀苞ヲ伴フ。果囊ハ幅7mm内外ノ粗大ナル六角柱形ニシテ長サ1.5-3.5cm許、淡綠色ニ白霜ヲ帶ビ且ツ赤褐色ヲ混ズ。穎ハ卵形赤褐色、背ニ三脈アリテ先端ニ走リ針狀ノ芒ト成ル。果囊ハ稍長ク、倒卵狀楕圓形、滿面ニ乳頭突起ヲ布キ、嘴ハ極メテ短シ。柱頭ハ二。和名ガウソノガウハ多分郷ニテ、そハ麻絲ノそニ擬セシ名、多分此葉ヲ以テ物ヲ結束スルニ用キシナラン、即チガウソハ麻絲ノ意ニテ田間ニテノそト云フ意味ニアラザル乎、尙考フベシ。

第 2353 圖

かやつりぐさ科



第 2354 圖

かやつりぐさ科



第 2355 圖

かやつりぐさ科

